

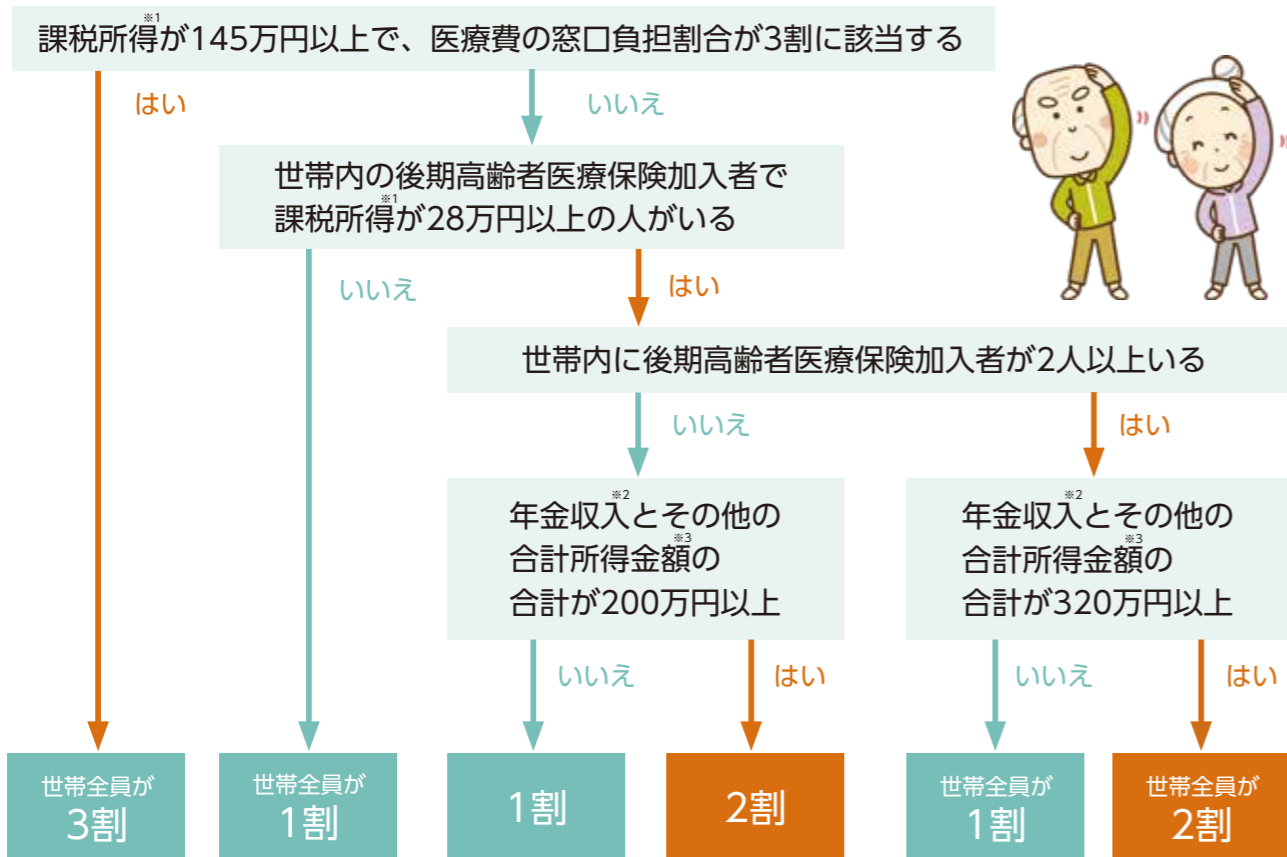
医療費の窓口負担割合が変わります

後期高齢者医療保険加入者で一定以上の所得がある人は、10月1日から現役並み所得者(窓口負担割合3割)を除き、医療費の窓口負担割合が2割になります。本年度は、後期高齢者医療被保険者証(保険証)を加入者全員に2回(7月中旬・9月中旬)送付します。使用の際は、有効期限にご注意ください。

【問】 ☎国保年金課Tel.22-5111

判定の流れ

後期高齢者医療保険加入者の令和3年中の課税所得や年金収入をもとに、世帯単位で判定します。



※1：課税所得…住民税納税通知書の課税標準の額。

[前年の収入から、給与所得控除や公的年金等控除等、所得控除(基礎控除や社会保険料控除等)等を差し引いた後の額]

※2：年金収入…年金収入には遺族年金や障害年金は含みません。

※3：その他の合計所得…事業収入や給与収入等から、必要経費や給与所得控除等を差し引いた後の金額。

配慮措置

2割負担の対象者は、施行後3年間(令和7年9月30日まで)は、窓口負担割合の引き上げに伴う負担増加額を1カ月3,000円までに抑えます(外来受診の医療費のみ対象)。

※同一医療機関での受診は、配慮措置を適用した上限額までの支払いになります。複数の病院や薬局の合算で上限額を超えたときは、事前に登録されている高額療養費の口座へ後日払い戻します。口座が未登録の人には、9月中に申請書を送付しますので口座の登録をお願いします。

申請書類は必ず郵送でお届けします。国・広域連合・市が電話や訪問でATMの操作をお願いしたり、キャッシュカードや通帳等をお預かりしたりすることは絶対にありません

古河市IT戦略プランの取り組み

情報技術の進展や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、行政にもDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進が求められています。市では、市民の利便性向上と行政運営の効率化を主なテーマとし、令和4年度から8年度までのデジタル化施策の方向性について「古河市IT戦略プラン」にまとめました。

【問】 ☎IT戦略課Tel.92-3111

DX (デジタル・トランスフォーメーション)とは

Digital Transformationを略した言葉で、情報通信技術を浸透させることで、人々の生活をあらゆる面でより良いものへ変革させるという概念のことです。「Trans」を「X」と略し、一般的に「DX」と表記されます。

IT戦略ビジョン～DXで変わる、つながる、みんなの古河市～

ビジョン1

市民の生活が便利になります

- いつでもどこでも自分に必要な市の情報をスマートフォンやパソコンで取得できます
- 市役所の手続きやサービスを正確・迅速に受けられます



ビジョン2

効率の良い市役所になります

- 職員間の情報共有や市民とのコミュニケーション効率が向上します
- 業務の自動化・効率化により、職員が付加価値の高い業務に取り組むことができます



ビジョンを実現させるための4つの重点施策

- ①ITによる市民の利便性向上 行政手続き等のIT化により市民サービスの向上を目指します
- ②ITによる行政運営の効率化 IT技術による行政運営の効率化と質の向上を目指します
- ③IT管理の最適化 情報機器や各種システムなどの管理の最適化を目指します
- ④ITガバナンスの強化 IT技術を有効活用できる体制づくりを目指します

主な取り組みの例

- 行政手続きのオンライン化推進
- LINE公式アカウントの活用推進
- 公衆無線LANサービス(公共Wi-Fi)の設置推進
- 公共施設の予約システム整備
- デジタル機器の活用にお困りの人への対応

古河市IT戦略プランの閲覧

閲覧場所 ☎IT戦略課、☎市民総合窓口室
 閲覧期間 6月1日～令和5年3月31日(冊子閲覧のみ)

市ホームページからも閲覧できます

